

# 逆引き

# 病気事典



連載／第八回

## ●気になる症状

少し前から、右脚の付け根に違和感があり、脚の付け根から股間にかけて膨らみがあります。熱や痛みはないのですが、なかなか腫れが引かず、歩くたびに気になっています。何か悪い病気の可能性があるものでしょうか。

(東京都・48歳男性)

## ●考えられる病気

陰嚢水腫／精巣がん／

鼠径ヘルニア

## 脚

の付け根の腫れは、一日の中で状態に変化がありますか。変わらないうちであれば、「陰嚢水腫」や「精巣がん」が考えられます。

【陰嚢水腫】は、陰嚢（丸の袋）に水が溜まって、陰嚢や脚の付け根が腫れてくる病気です。悪性疾患ではありませんが、ひどくなるとズボンに収めるにも大変なほど水が溜まって重くなり、日常生活に支障が出ます。場合によっては、水を抜く処置や、水が溜まらなくなる手術が必要です。

また、陰嚢や脚の付け根を触ってみて、ゴリツとしたしこりを感じるようなら、【精巣がん】かもしれません。比較的若い年齢での発症が多く、ほとんどの場合は、精巣の肥大や硬化、左右の大きさの違い、脚の付け根の腫れなどから、自分で異変に気づきます。

しこりが小さいうちは、痛みや発熱などの症状はありません。進行が速いことが特徴のがんでもあるので、気になるときは、泌尿器科

を受診して、できるだけ早く診断をつけましょう。また、陰嚢水腫には悪性腫瘍が隠れていることもあるため、自己判断は危険です。もし、脚の付け根の膨らみが、朝は引いていて日中に活動すると出てくるようであれば、【鼠径ヘルニア】が疑われます。

これは、脚の付け根の弱くなった筋肉の間から、腸が皮膚の内側まで飛び出してくる病気で、一般的に「脱腸」と呼ばれているものです。「鼠径」は脚の付け根のこと。ヘルニアが「脱腸」を意味します。

痛みがないこともありませんが、違和感や腰が引く張られるような痛みを感じる場合が多く、手でそっと押さえたり、横になる、お風呂で温めることなどで元に戻るのが特徴です。腹圧がかかると腸が出や

すくなるので、力仕事や立ち仕事、よく歩く職業の人、便秘や前立腺肥大症の人、吹奏楽やマラソンが趣味の人などにもなりやすい傾向にあります。なかには、恥ずかしい場所だからと何年も受診せず、ソフトボールくらいの大きさになって来院する人もいます。

ひとつ注意が必要なのは、突然起きる「嵌頓」です。飛び出した腸がはさまって戻らなくなり、緊急搬送されるような強い痛みを生じます。鬱血した腸が壊死してくれば、切断する手術をしなければなりません。

鼠径ヘルニアは、様子を見ていて自然に治ることはありません。症状がある方は消化器外科で相談し、早めの治療をお勧めします。最近では小さな傷しか残らない内視鏡の手術や、短期滞在での手術が可能です。



回答者／  
メディカルトピア草加  
病院外科

亀井 文

かめい・あや／78年生まれ。04年北海道大学卒業。手稲浜仁会病院、ローマ外科臨床留学などを経て、12年より現職。専門は極めて小さな傷で行う腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術、消化器外科全般

取材・文／青木直美